

# 工事書類簡素化の手引き

令和6年9月



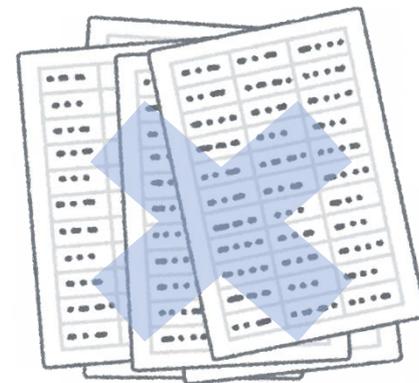
佐賀市 総務部 契約監理課

## はじめに

- 本手引きは、受発注者双方の工事書類簡素化に向けた認識を共通させるため、活用するものとしします。
- 受発注者双方の生産性向上のため、相互に工事書類簡素化に努めることとしします。
- 本手引きは目安であり、運用に当たっては、工事の特性等に合わせて発注者で修正することができることとしします。

※本手引きの記載事項は、省略が可能なものであるため、受注者社内で必要とされる工事書類作成を妨げるものではありません。

※法令等で規定された書類の作成は厳正に行ってください。



# 1. 登録内容確認書 (コリンズ)

## 提示で可、提出不要

- ✓ 受注者がコリンズを登録した後、発注者に登録メールが送付されることで提示した扱いとなる。

登録のための確認のお願い	
年 月 日	
〇〇県〇〇局△△事務所	
御中	
以下の工事実績データの登録内容について確認をお願いします。	
(請負者) 株式会社コリンズ・テクリス建設	
登録対象工事情報	
登録種別	受注登録
登録番号	
件名	赤坂地区制装修繕工事
請負金額 (税込)	10,000,000 円(1000万円)
契約工期	2023年07月01日 ~ 2024年03月31日(令和5年7月1日 ~ 令和6年3月31日)
発注機関名	〇〇県〇〇局△△事務所
契約方式	一般競争入札方式 (価格)
受注形態	単独
確認に際しての留意事項	
・登録内容の詳細は「当該工事の登録履歴」および「登録予定の工事実績データ(明細)」を参照してください。	
登録内容の事前確認結果	※以下を記入して登録企業担当者に渡してください。
発注機関確認担当者 記入欄	上記の工事実績データについて登録して良いことを確認した。 発注機関名 : 〇〇県〇〇局△△事務所
※誤記がある場合は 正しい内容を空白に 記入してください。	所属部署名 : 確認課 担当者氏名 : 確認太郎
※確認年月日や確認者署名を 記入しない場合は、本件の登録を認め た証拠が残るように メール等で企業へ ご連絡ください。	担当者メールアドレス: XXXX@XXX.XX.XX 確認年月日 : _____年_____月_____日 確認者署名 : _____
JACICへの連絡事項	※JACICに本報票を提出する場合は必ず記入してください。
登録企業担当者 記入欄	提出年月日 : _____年_____月_____日 担当者氏名 : _____ 所属部署名 : _____ TEL : _____ FAX : _____

出典元:(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)

## 2. 施工計画書 ①

維持工事等簡易な工事は記載内容の一部を省略できる。

対象工事	特記仕様書に記載する必須項目
維持工事等簡易な工事等 (特記仕様書に記載している工事)	計画工程表、現場組織表、安全管理、主要資材、緊急時の体制及び対応、再生資源利用の促進と建設副産物の適正処理方法、 その他(法律等で提出が義務づけられている書類等)

- ✓ 必須項目以外を記載することを制限するものではありません。
- ✓ 土木工事等共通仕様書第6節による





## 2. 施工計画書 ③

### 工事内容の軽微な変更については、変更施工計画書の作成不要

- ✓ 施工方法等の変更により施工計画書を変更する場合は、その変更箇所のみ作成・提出
- ✓ 工事完成時の最終版の施工計画書一式の作成・提出は不要
- ✓ 工事内容の軽微な変更※については、変更施工計画書の作成・提出は不要

※「工事内容の軽微な変更」とは、数量のわずかな増減等、施工計画に大きく影響しないものをいう。

例) 工期末の精算変更、工期のわずかな変更、現場代理人等の変更に伴う組織表の変更

変更施工  
計画書

※変更部分  
のみ記載

### 3. 工事資材使用届出書(材料承認) ①

## As混合物事前審査制度の審査で認定された材料は、品質証明資料不要

- ✓ 品質証明、試験成績表の提出及び試験練りは省略できる。
- ✓ 認定された材料を使用する場合は、認定書等の写しを提出
- ✓ 認定書等の通知、認定規格、有効期限を確認

品質管理基準及び規格値

工種	種別	区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘要	成績表等による確認
21 ア ス フ ァ ルト 舗 装	材 料	必須	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	施工前、材料変更時		◎ ☆
		必須	骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表乾密度:2.45g/cm <sup>3</sup> 以上 吸水率 :3.0%以下	施工前、材料変更時		◎ ☆
		必須	骨材中の粘土塊量の試験	JIS A 1137	粘土、粘土塊量:0.25%以下	施工前、材料変更時		◎ ☆
		必須	粗骨材の形状試験	舗装調査・試験法便覧[2]-51	細長、あるいは扁平な石片:10%以下	施工前、材料変更時		○ ☆

土木工事施工管理の手引きの品質管理基準で「☆」印の試験が対象

※「九州As事前審査制度」の認定書と「佐賀県As事前審査制度」の認定書は様式が異なります。

# 3. 工事資材使用届出書(材料承認) ②

**適** マークの承認を得た工場のコンクリートを使用する場合、  
配合計算書のみを提出

✓ 骨材試験やセメント試験などの**基礎資料は提出不要**

レディーミクストコンクリート配合計画書

年 月 日

日本産業規格認証工場  
中央生コンクリート株式会社

配合計画者

工事名称

所在地

納入予定時期

本配合の適用期間 1. 2. 3. 12月(冬季配合)

コンクリートの打ち込み箇所

### 配合設計の条件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランブ c m	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	21	8	20	BB

指定事項(必須)

セメントの種類	呼び方欄に記載	粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載
骨材の種類	使用材料欄に記載	アルカリ骨材反応抑制剤の添加	B15
骨材のアルカリシロカ反応性による区分	A	コンクリートの湿度	
水の区分	使用材料欄に記載	水セメント比の上限値	
混和材料の種類及び使用量	使用材料欄に記載	単位水量の上限値	
塩化物含有量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	単位セメント量に対する上限値	
呼び強度を保証する材齢	28日	運動後のスランブの増大率	
空気量	4.5%		
軽量コンクリートの単位容積質量			

指定事項(任意)

### 使用材料

セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社	種類	3.04	Na <sub>2</sub> Oeq %				
骨材	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分	粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	絶対含水率	乾燥	微粒分量の範囲
①	海砂	唐津産 海砂	A	化学法	5mm以下	2.60	2.56	—	—
②	砕砂	熊本産 砕砂	A	化学法	5mm以下	2.80	2.60	2.5±2.0	—
③	砕石	熊本産 産2005	A	化学法	5~20mm	58.0	2.74	1.0±1.0	—

混和剤① 製品名 マスターボリヒド15L 種類 AE減水剤標準形1種 Na<sub>2</sub>Oeq % 0.6

混和剤② 製品名 マスターエア202 種類 AE剤(1種) Na<sub>2</sub>Oeq % 1.9

細骨材の塩化物量 0.004 % 水の区分 地下水・上海水 目標スランブ固形分率 %

回収骨材の使用法 細骨材 粗骨材 安定化スラッジ水の使用の有無

### 配合表 (kg/m<sup>3</sup>)

セメント	混和材	水	細骨材	粗骨材	混和剤
262	153	607	264	1033	0
水セメント比	58.5 %	水結合材比	%	細骨材率	47.3 %

配合計画書のみ添付

日本産業規格表示認証工場  
認証番号 GB0807093  
中央生コンクリート株式会社

骨材試験結果報告書

承認 確認 担当者

年 月 度

試験項目

試験場所

### セメント試験成績表

202年(令和 年) 月 度

太平洋セメント株式会社

品 質	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211			
	JIS規格値	平均値	標準偏差	最大値(最小値)	JIS規格値	平均値	標準偏差	最大値(最小値)	JIS規格値	平均値	標準偏差	最大値(最小値)
密度 g/cm <sup>3</sup>	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比表面積 cm <sup>2</sup> /g	2000以上	3390	55	—	3300以上	4310	58	—	3000以上	3340	51	—
水収縮 %	—	27.3	—	—	—	29.2	—	—	—	28.5	—	—
凝結 始発 h:min	60min以上	2:11	—	(1-10)	60min以上	1:49	—	(1-20)	60min以上	3:09	—	(2-10)
凝結 終結 h:min	10h以下	3:16	—	4:15	10h以下	2:39	—	3:10	10h以下	4:23	—	5:40
安定性 パット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強度 N/cm <sup>2</sup>	1日	—	—	—	100kN以下	24.2	1.46	—	—	—	—	—
ふる	50 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	40 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	25 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水	1.5 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分	5.0 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2.5 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1.2 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0.6 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	0.3 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
試	0.15 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	粗 粒 率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
驗	規格値	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	砕 砂	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

試験方法はJIS R 5201, JIS R 5202, JIS R 5203及びJIS R 5204による。  
28日圧縮強さ及び28日水収縮は前月度の値を示す。

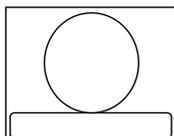
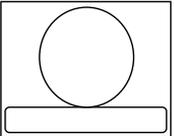
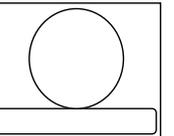
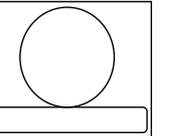
全アルカリの最大値のうち最近6ヶ月の最大値 高炉セメントB種



# 4. 施工体制 ①

## 「工事担当技術者台帳」の作成・提出不要

**担 当 技 術 者 台 帳 (記載例)**

元請名	〇〇建設㈱	会社名	□□興業㈱	会社名	△△建設㈱	会社名	㈱××建設	会社名	
監理技術者名	〇〇〇〇	主任技術者名	□□□□	主任技術者名	△△△△	主任技術者名	××××	主任技術者名	
主任技術者名		生年月日	□年□月□日	生年月日	△年△月△日	生年月日	×年×月×日	生年月日	
生年月日	〇年〇月〇日	専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任	
								<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>	
撮影年月	年 月	撮影年月	年 月						
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>	
撮影年月	年 月	撮影年月	年 月						
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">【写真貼付欄】</div>	
撮影年月	年 月	撮影年月	年 月						

# 4. 施工体制 ②

## 現場に掲げる建設業許可票は元請のみ掲示義務

- ✓ 下請け業者の建設業許可票は掲示の義務はない。
- ✓ 下請け業者については、施工体系図に建設業許可番号等記載

工 事 作 業 所 災 害 防 止 協 議 会 兼 施 工 体 系 図

発注者名		工期	自 年 月 日	至 年 月 日
工事名称				

元請名・事業者ID	会社名・事業者ID	会社名・事業者ID	会社名・事業者ID
監督員名	代表者名	代表者名	代表者名
監理技術者名	許可番号	許可番号	許可番号
主任技術者名	一般/特定の別 一般/特定	一般/特定の別 一般/特定	一般/特定の別 一般/特定
監理技術者補佐名	安全衛生責任者	安全衛生責任者	安全衛生責任者
専門技術者名	主任技術者	主任技術者	主任技術者
担当工事内容	特定専門工事の該当 有・無	特定専門工事の該当 有・無	特定専門工事の該当 有・無
専門技術者名	工 専 門 技 術 者	工 専 門 技 術 者	工 専 門 技 術 者
担当工事内容	担当工事内容	担当工事内容	担当工事内容
	工期 年 月 日 ~ 年 月 日	工期 年 月 日 ~ 年 月 日	工期 年 月 日 ~ 年 月 日

会 長	統括安全衛生責任者	元方安全衛生管理者
副 会 長		

建 設 業 の 許 可 票

商号又は名称	
代表者の氏名	
主任技術者の氏名	専任の有無
資格名	資格者証交付番号
<b>元請のみ</b>	
一般建設業又は特定建設業の別	
許可を受けた建設業	
許 可 番 号	国土交通大臣 許可( )第 号
知 事	
許 可 年 月 日	

会社名・事業者ID	
代表者名	
許可番号	
一般/特定の別	一般/特定
安全衛生責任者	
主任技術者	
特定専門工事の該当	有・無
工 専 門 技 術 者	
担当工事内容	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日

**下請**

## 5. 履行報告書 ①

### 監督員の指示があった場合、作成・提出

- ✓ 他工事との工事調整が必要な工事
- ✓ 工事完成の遅れにより社会的影響が大きい工事等

#### 工 事 履 行 報 告 書

工事名	第	号	工事
工期	～		
日付	( 月分)		
月 別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程 %	備 考

※中間前金払を請求する場合は作成・提出が必要



# 5. 履行報告書 ③

実施工程%は、「請負代金額」と「現場で施工した金額」で算出

✓ 実施工程%の根拠資料の添付は不要。

$$\text{実施工程\%} = \frac{\text{現場で施工した金額}}{\text{請負代金額}}$$

様式-14

工 事 履 行 報 告 書

工事名	市道〇〇〇〇線道路改良工事		
工期	令和6年4月20日	～	令和7年2月28日
日付	令和6年7月31日	(	7月分)
月 別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程 %	備 考
令和6年 5月	0	5	
令和6年 6月	10	8	
令和6年 7月	20	13	
令和6年 8月	35	30	
令和6年 9月	55	53	
令和6年 10月	70 (63)	63	
令和6年 11月	80 (70)	70	
令和6年 12月	90 (83)		
令和7年 1月	100 (93)		
令和7年 2月	(100)		
令和7年 3月			
(記事欄)			

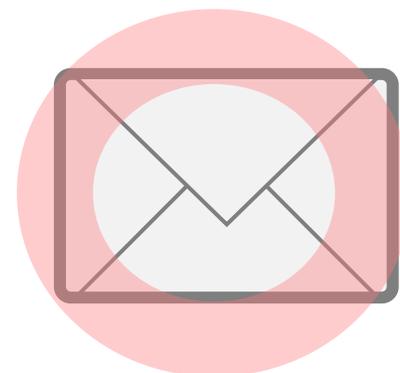
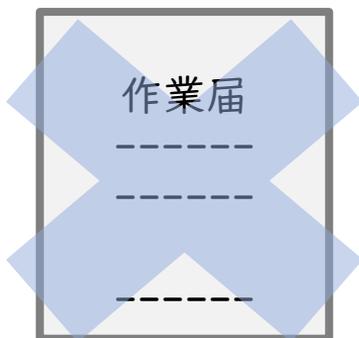
主任 監督員	一 般 監督員



# 7. 休日・夜間作業届

## 連絡で可、作成・提出不要

✓ ただし、現道上の交通規制を伴う工事については作成・提出を要する。



佐賀市土木工事等共通仕様書 共通偏 第47節 施工時期及び施工時間の変更

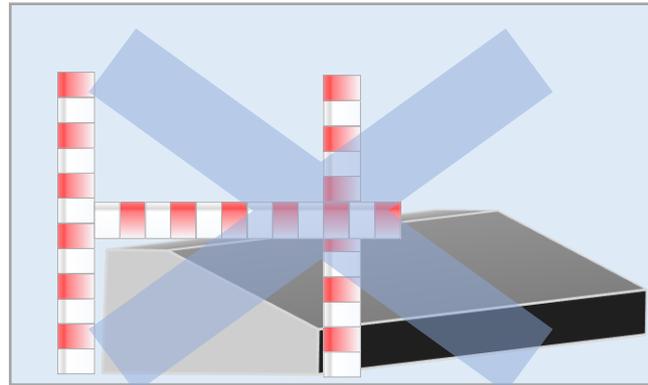
2. 受注者は、設計図書に施工時間が定められていない場合で、佐賀市の休日に関する条例（平成17年条例第2号）に規定する市の休日または夜間に、作業を行うにあたっては、事前にその理由を監督員に連絡しなければならない。

ただし、現道上の工事については書面により提出しなければならない。

## 8. 段階・検査確認書

### 数値確認の接写写真は不要

- ✓ 段階確認（検査）状況写真のみでよい。



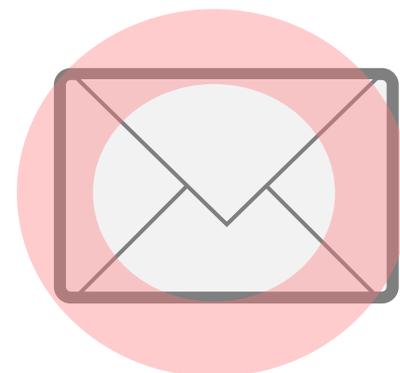
### 状況写真黒板には、必要最小限の事項を記載

- ✓ 測定項目、監督員（検査員）名、確認（検査）日のみ記載でよい。

測定項目：○○ No○  
監督員名：○○○  
確認日：○年○月○日

## 9. 確認・立会依頼書

### 連絡で可、作成・提出不要

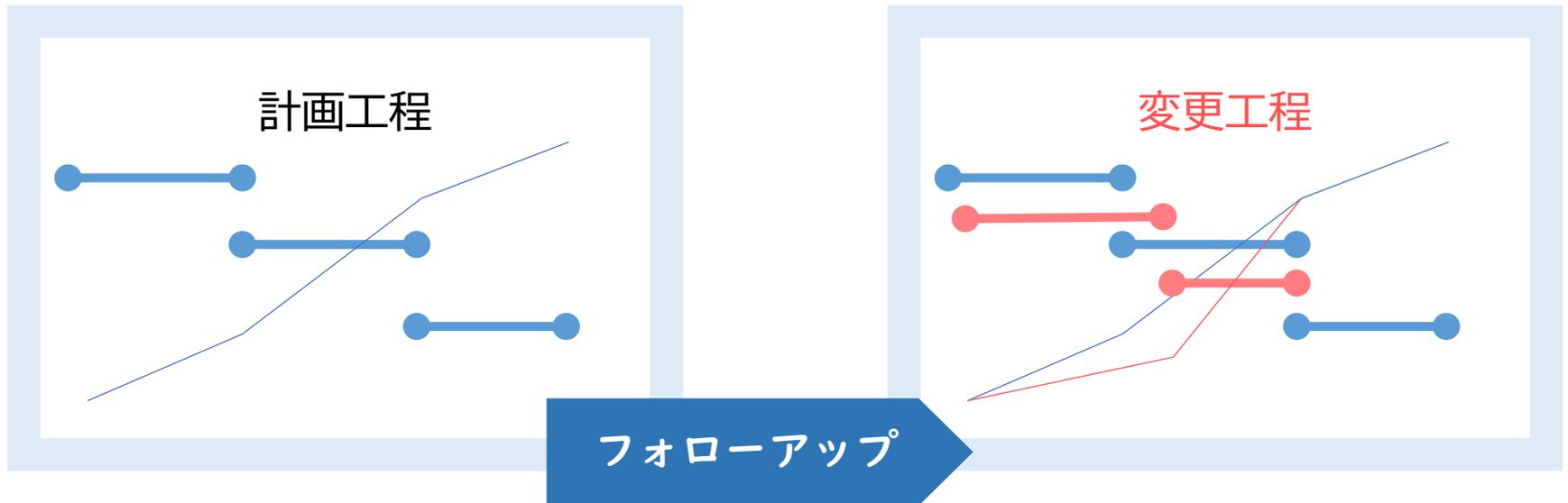


- ✓ 段階確認等、監督員の立会が必要な場合は、口頭や電子メール等の連絡でよい。

# 10. 工程管理 (フォローアップ)

## 最終工期に影響をおよぼす予測を生じた場合に行う

- ✓ 契約工程と実施工程がかい離した場合、あるいは予想される場合、または変更指示契約変更があった場合に、残工事に対する変更工程表を作成する。
- ✓ 実施工程表の紙成果品は提出不要 (電子納品時)



実施工程表は、受注者が円滑な工事の実施と、その統制を図るためのもの

# 11.安全管理 ①

重機点検記録簿等の日常管理資料は、提示のみで  
スキャンや提出は不要

求められたときは、提示ができるようにする。

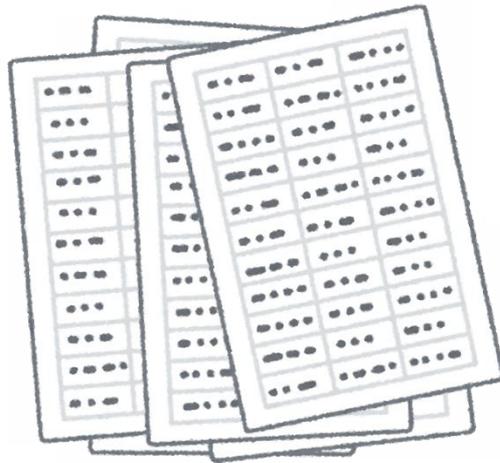


# 11.安全管理 ②

KY活動、新規入場者教育の資料は記録簿の提示、  
写真管理は不要



記録簿



# 1.安全管理 ③

## 安全訓練、災害防止協議会は報告書のみを提出

- ✓ 報告書は、開催日、実施時間、参加者、活動内容が分かる内容とし、実施状況の写真を添付する。
- ✓ その他の安全資料は、原本の提示

実施状況



報告書

報告書

○月○日  
○時～○時  
○人  
-----  
-----

実施資料



# 12.副産物処理の管理

## ①マニフェスト伝票の提示

## ②車両・ステッカーの写真管理

✓ 全工程内に出た同じ車両の写真管理は1回のみ

※副産物が異なれば別途写真管理は必要

✓ 次の2点で写真管理

- ・車番とステッカーが写り込む遠景
- ・ステッカーのみの近景

### ①マニフェスト伝票の提示



### ②車両・ステッカーの写真管理



産業廃棄物収集運搬  
〇〇会社  
〇〇〇〇号

車両番号

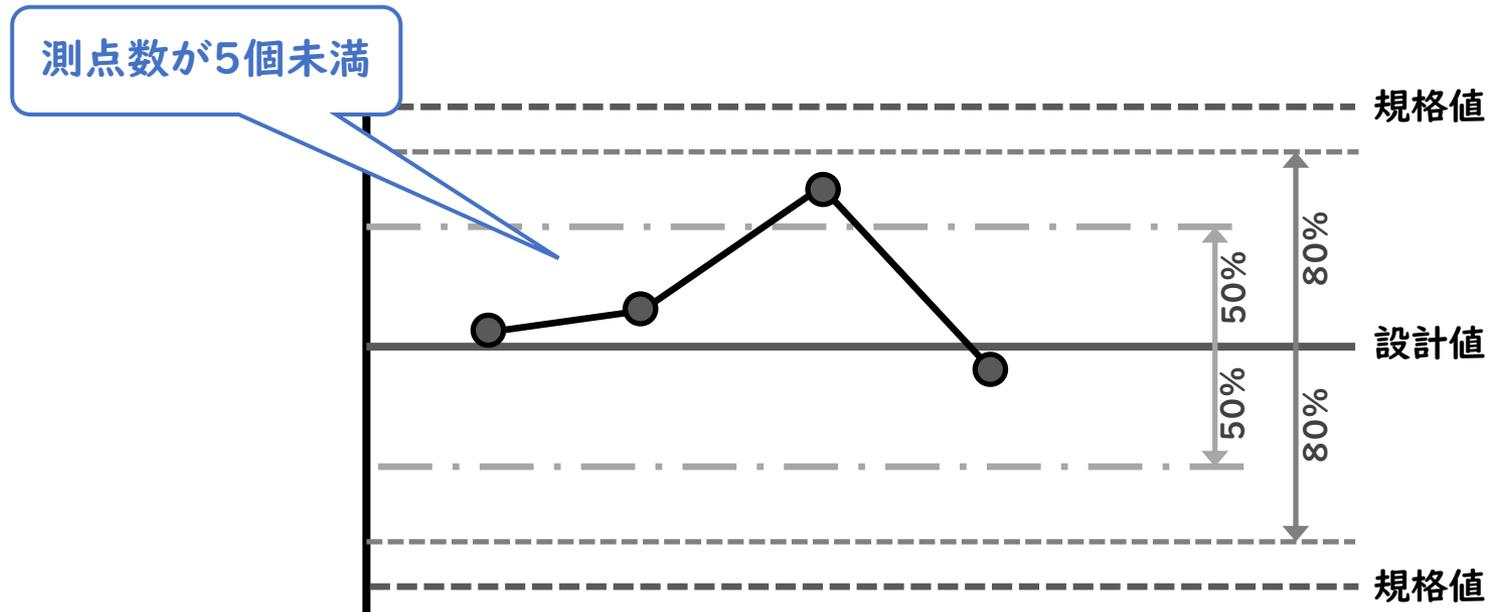
マニフェストの車両番号と整合がとれるようにする。

# 1.3. 出来形管理 ①

## 出来形管理の測定点が5点未満の工種は、工程能力図は不要

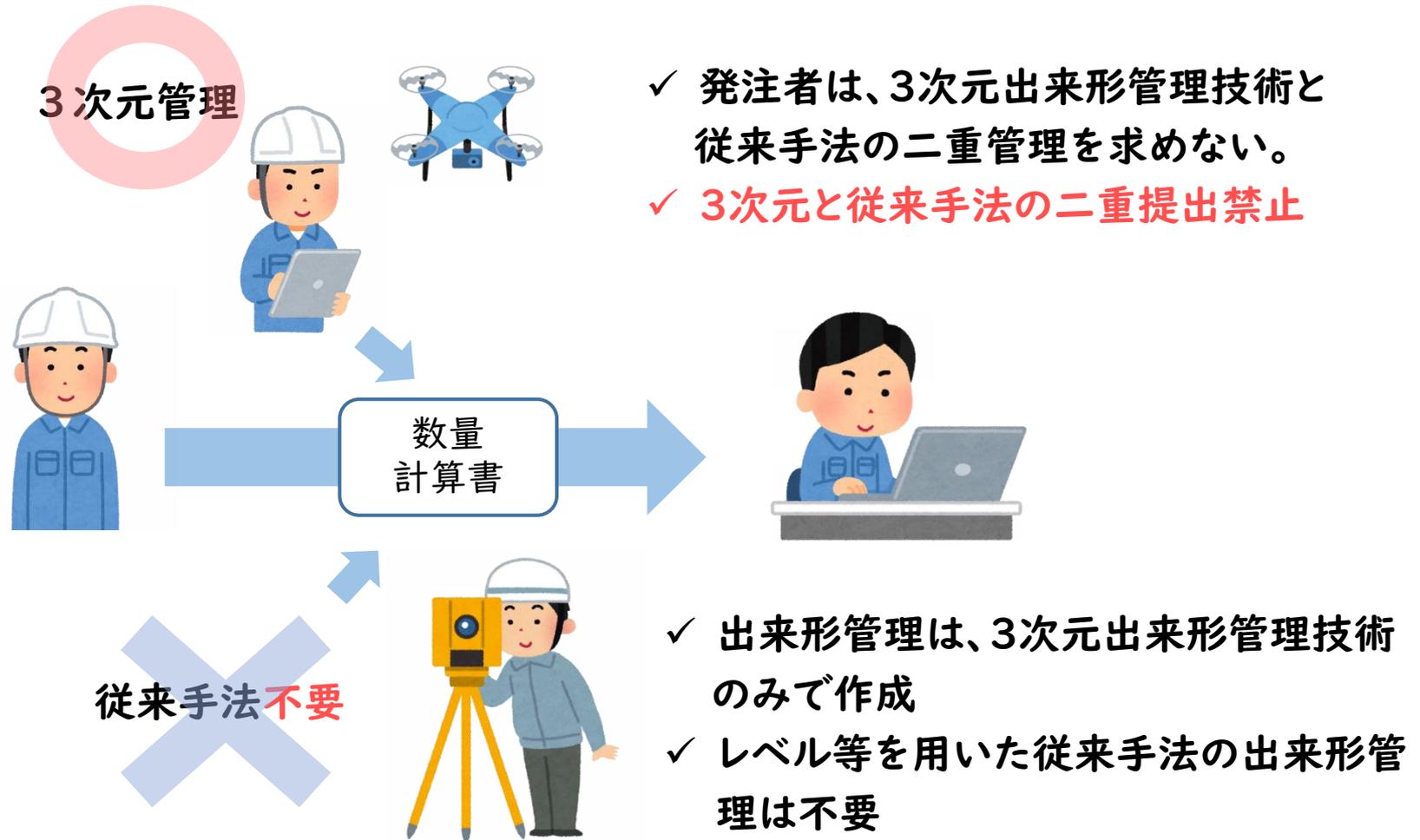
- ✓ 「土木工事施工管理の手引き」等に基づく出来形管理の測点数が5個未満の場合、出来形管理図表は作成する必要はない。

\* 測定結果（設計値との比較）は必要



# 13. 出来形管理 ②

## ICT出来形管理を行う場合従来手法の出来形管理は不要



# 14.品質証明書

## 設計図書に記載しているもの以外は作成・提出不要

- ✓ 品質証明を求める場合は、特記仕様書に「品質証明の対象工事」と明示する。
- ✓ 対象工事の場合の報告資料は品質証明書のみとし、試験成績報告書やカタログ等の添付は不要

様式-33

年月日:

品質証明書

〇〇〇 第0000000-000号 〇〇  
工事名: 〇〇〇〇〇〇工事(〇〇〇)

品質証明記事				
品質証明事項	実施日	箇所	品質証明員氏名	記事

社内検査した結果、佐賀市建設工事請負契約約款、図面、仕様書、その他関係図書に示された品質を確保していることを確認したので報告します。

受注者 住所  
氏名

# 15.工事写真 ①

## 黑板の文字が確認できれば、写真帳の添え書きは不要 (電子納品時のみ)



出来形管理写真  
取付水路工  
現場打水路工  
壁鉄筋組立完了出来形  
上流北側

	設計値	実測値
W 7 (D13)	2本	
W 8 (D13)	52本	52本
W 9 (D13)	28本(32本)	

電子納品で写真を拡大できることで文字が確認できる。



写真区分:出来形管理写真  
工種:緑石工  
種別:歩車道境界ブロック  
細別:歩車道境界ブロック  
写真タイトル:基礎碎石出来形  
計画 w=280 t=100 出来形 w=300 t=105  
撮影箇所:No.5 L

	設計値	実測値	差
幅測定(w)	280mm	300mm	+20mm
厚さ(t)	100mm	105mm	+5mm

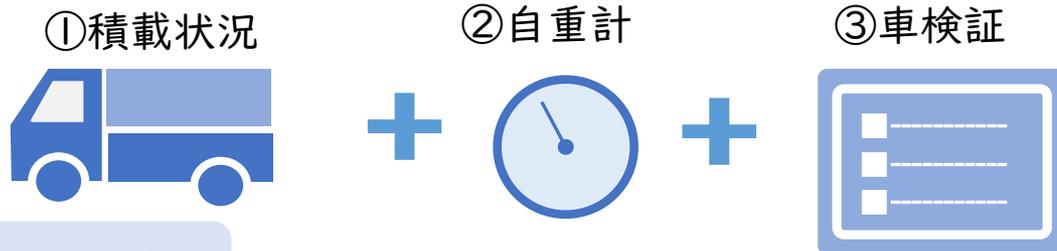
## 15.工事写真 ②

### 過積載の写真は運搬直前だけで、積み込み状況は不要

- ✓ 写真は「自重計あり」または「自重計なし」で整理してください。
- ✓ 全工程内に出た同じ車両の写真管理は1回のみ
  - ※材料が異なれば別途写真管理は必要
- ✓ 現場等から運搬する際は写真管理が必要 ※購入資材の写真管理は不要

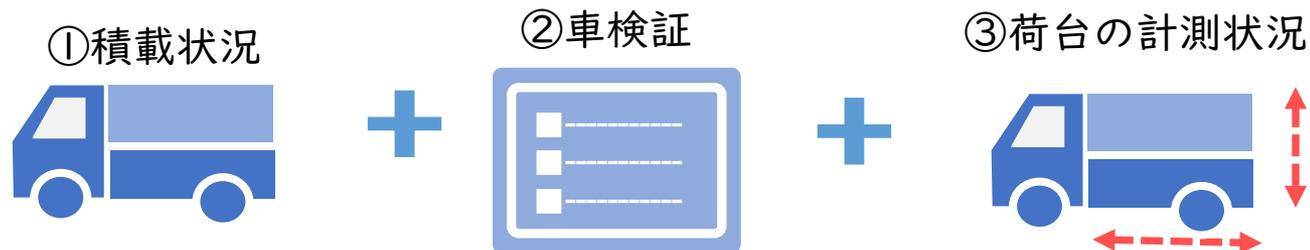
#### 自重計ありの場合

車番が映り込むように撮影



#### 自計なしの場合

容積がわかるように撮影



## 15.工事写真 ③

排出ガス騒音ステッカー、現場内の整理整頓の確認は現場内で監督員が確認すれば、写真管理は不要

監督員による現場確認



撮影不要



排出ガス騒音ステッカー

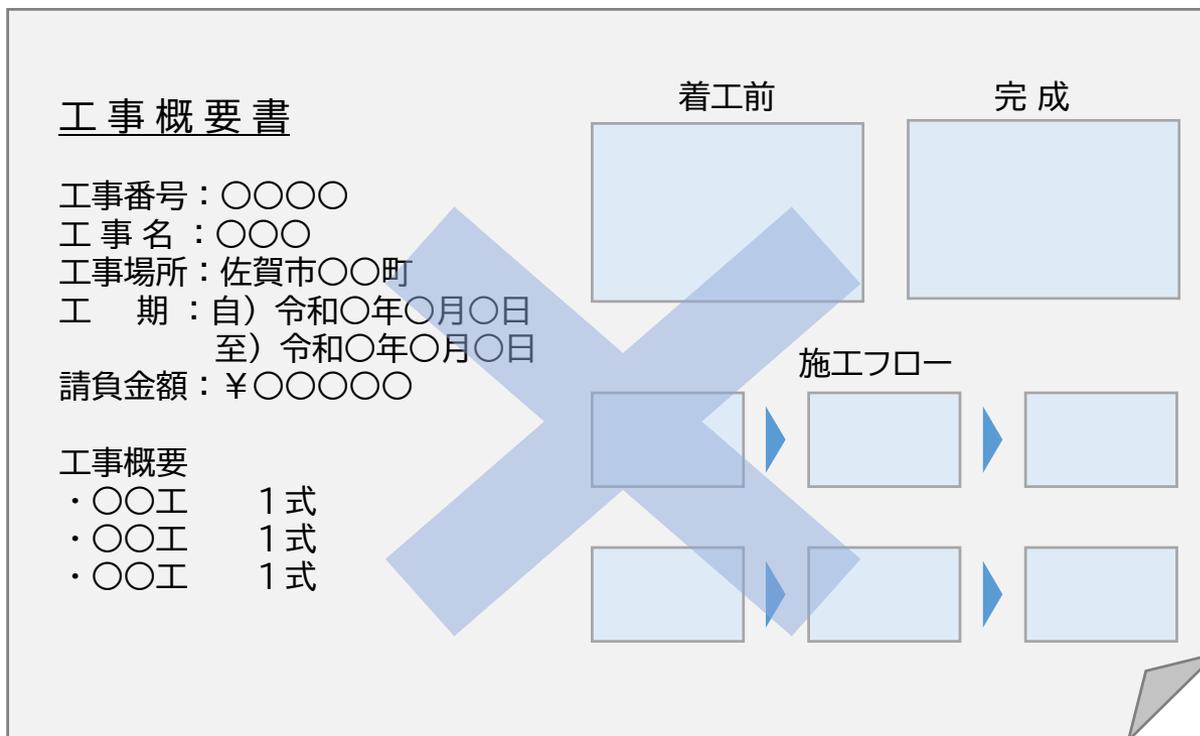


現場内の整理整頓

# 16. 工事概要説明資料

## 検査時の工事概要説明資料の作成・提出不要

- ✓ 工事概要説明は発注者が既存の図面等を用いて行う。
- ✓ 受注者が工事概要説明資料を作成しても成績評価は加点されない。





# 18.社内検査、下請検査

## 状況写真の提出は任意

- ✓ 社内検査は、工事全般について品質を確保するための取り組み
- ✓ 状況写真の提出は任意、検査で使用した資料を提出
- ✓ 下請け検査は、報告書等を提出



状況写真の提出不要

<参考>

建設工事標準下請契約約款

(検査及び引渡し)

第二十七条 下請負人は、工事が完成したときは、その旨を書面をもって元請負人に通知する。  
2 元請負人は、前項の通知を受けたときは、遅滞なく下請負人の立会いの上工事の完成を確認するための検査を行う。この場合、元請負人は、当該検査の結果を書面をもって下請負人に通知する。

# 19.ウィークリースタンスの実施

「依頼日・時間及び期限に関すること」「会議・打合せに関する  
こと」「業務時間外の連絡に関すること」を設け、現場環境改  
善に努める。

## (1) 対象

全ての工事を対象（災害対応等緊急を要する場合は除く）

## (2) 取組内容

土日・深夜勤務等を抑制するため、以下の取組を設定し、現場環境の改善を行う。

### ① 依頼日・時間及び期限に関すること

・休日・ノー残業デーの業務時間外に作業しなければならない期限を設定しない。

### ② 会議・打合せに関すること

・業務時間外に掛かるおそれのある打合せ開始時間の設定をしない（具体的な時間を設定）。  
・打合せはWEB会議等の活用にも努めること

### ③ 業務時間外の連絡に関すること

・業務時間外の連絡を行わない（ASP・メール含む）。  
・受発注者間でノー残業デーを情報共有すること